ましあって斗おう！

闘いに終始した58年
今年こそ資本家の野望の根底を衝け

労働組合にとつて多難な一九五八年は過ぎ、一九五九年の新しい年を迎えた。岸内閣成立とともに狂気じみた岸の政策は、組合の上につぎつぎと一連の弾圧をくわえてきた。まさに茨の道であつた。このことは昨年行われた闘争のうち、権利闘争が多数をしめたのをみてもうかがえるし、それに、資本家はこれに力をえて、組合ぶつ潰しにかかろうとし、第二組合をつくり組合分裂に引ずりこみ、無力化させようとした。その好例が王子だがこれは王子だけでなく、全労働者にかけられた攻撃だと闘いは大きく発展し、あのような勝利のカギをつかんだのである。ついで警職法においては未曾有の統一行動をくみ、労働者の力をいかんなく政府にたたきつけた。一方、三鉱労組では年明けとともにリコール闘争、引つづく春闘では統一行動の高まりのなかで闘いをつづけていつた。以来ロックアウトと対決して闘つた期闘まで息もつけぬ闘いの連続であり、とくに再建案でわれわれが今日まで築きあげた成果を一挙におしつぶそうとかかつてきたのである。新年にあたつてわれわれは昨年歩いてきた道を振りかえりそのなかから成果を学びとり、欠点を反省しながら、新しい闘争に取組む心構えをつくるときであろう。以下一九五八年の闘いを回顧しながらつぎの闘いにたいする心構へを整えよう。

◈リコール署名進む

県民の血税を喰荒した土屋県知事をリコールせよと、社会党、労働組合が中心となつて全県あげての運動へ発展させた。

◈保安団交ひらく

新春早々から災害相つぐ。組合は会社の保安サボを追及し実力行使を背景に強力な交渉を展開した。

◈春季闘争盛上る

ゼロ回答返上を合言葉に春闘は全国的な規模の下に異常な激闘に発展、炭労は九十日に亘る重点無期限ストの末、闘いを終了した。

◈西独行きの第二陣

西独派遣労務者の第二陣に三池から十二名が参加した。一行は三月十三日元気に大牟田を出発した。

◈華やかにメーデー

働くものの喜びを祝う第二九回メーデーは全国で四三〇万人が参加して意気を示した。とくに総選挙を反映して選挙戦を闘い抜く決意をもやした。

◈平和闘争に結集

衆議院総選挙は五月二二日投票が行われた。組織から推薦した田中稗田、坂本三候補は敢闘したが、惜しくも稗田候補は落選した。

◈働く婦人の中央集会

第三回働く婦人の中央集会は日本じゆうの働く婦人が集つていろいろな問題を話し合つた。三池からも十一名が参加した。

◈岸内閣成立す

戦犯内閣として悪名高き岸第二次内閣は、労働者の反対をおしきつて成立した。戦争への恐怖はいよいよ国民のうえにおおいかかつてきた。

◈悪質な江口闘争

中興鉱業江口鉱では多数の殉職者を出しながら、組合に首切りの再建案を提示した。それとともに闘いは炭労との闘いにまで発展した。三池からもオルグを派遣し闘いを支援した。

◈炭労定期会開く

第二〇回定期大会は七月二日から四日間ひらかれ、春闘の総括の中からこんごの闘いの踏み台として前進することを誓いあつた。

◈炎天下の平和行進

平和への祈りこめて広島—東京間の平和行進が行われた。各県でも平和大会を開催、大牟田からも九〇余名が参加して福岡に向けて力強い行進を起した。

◈機械化中央交渉妥結

昨年来機械化をめぐつて三鉱連では長期に亘つて会社と交渉をつづけていたが、七月九日全体給をたな上げして組合の要求通り妥結をみて、具体的事項は山元交渉へ残されることとなつた。

◈新制作座が公演

組合主催で「野盗、風の中を走る」の公演が実現した。公演ご劇団を囲んで緑ガ丘、潜友クラブで懇談をおこない、こんごの文化活動について話し合つた。

この一年

空では——

対立も　境界もない　ここでさえ、人工
の天体が　重い意志の尾をひき、無の世
界に　カウントを放射した。未来はここ
からはじまろうとするのだが、だいじな
おれたちは、スタートからはづされた。

海では——

アメリカの　兵器庫に入りきれなくなつ
た　軍艦・飛行機が、台湾近海まであふ
れだした。

地上では——

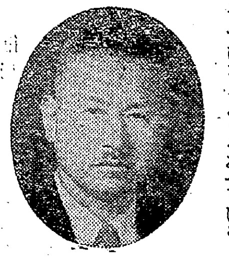
生産グラフ上昇に　おびえる国と　歓呼
する国と、興る国と　滅する国が、人類
の思惟の死角で　しづかに　刻々と　位
置をかわる。どこかで　おれたちの運命
につながる　その気配を、おれたちは
予感のように　するどく受信する。

日本では——

新年に際して

衆議院議員　田中稔男

坂本泰良



—新年おめでとう！

ことしは景気がよくなるだろう、というので、政府は「三十四年度の経済見通し」の中で、経済成長率を五・五パーセントとしている。どうもあやしいものだ。

第一、本家本元のアメリカの景気が、昨年よくなりかけていたのに、十一月ニユーヨーク株式市場の大暴落いらい暗いかげがさしている。

何はともあれ、一千万トンをこえる貯炭をかゝえて年を越した石炭業界の景気が、なかなか立ち直らないことは、たしかだろう。

賃金をまもるために、首切りをはねかえすために、たゞそれだけのためにも、ことしは苦しい闘いを覚悟しなければならない。

正月早々、とその酔いのさめるような話ですまないが、事実だからやむを得ない。

昨年は、民主々義を守る大衆の力で、警職法改悪を粉砕した。戦後十三年、日本の民主々義も力強く育つていることが、これによつて証明された。

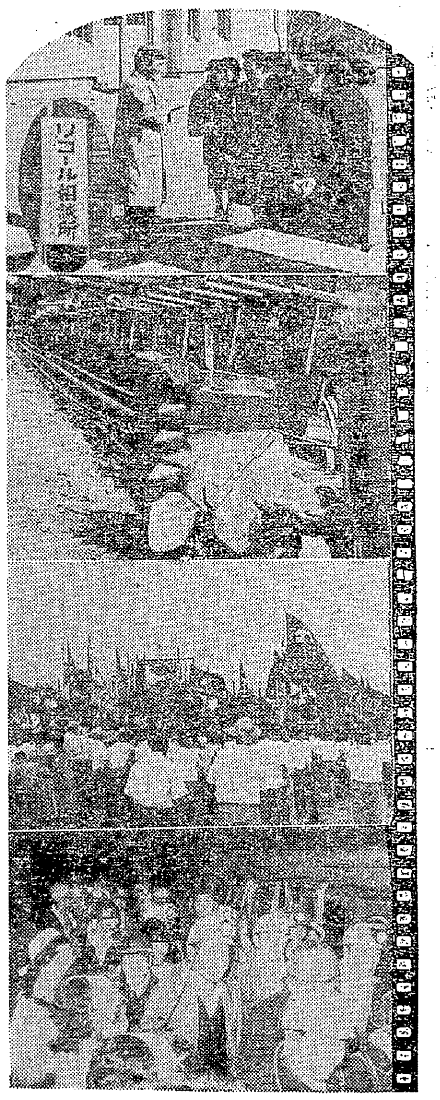
しかし、なお油断はならない。岸内閣は、警職法改悪案をまた提出しないとはいえない。さらに、国民の反対を押し切つて、日米安保条約を軍事同盟として強めるようなことをやるかも知れない。民主々義と平和を守る闘いは、ことしも続くだろう。

警職法問題で傷ついた自民党の派閥争いは、いよいよ大きくなりつつある。

しかし、闘いの道はけわしくきびしいものがある。あらゆる苦難を克服して闘わねばならない。社会党がやすやすと政権の座につくというような幻想は、早くたゝきこわす必要がある。

勤労大衆の組織力にささえられ、苦しい闘いを通じてのみ、社会党は政権を獲得することができるのだ。

ことしも皆さんと一緒に、元気に闘いましょう！

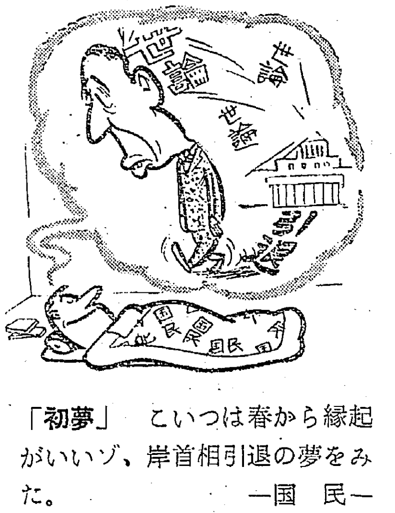


写真上から　(1)リコール闘争　(2)機械化のホーベル　(3)勤評反対の決起大会　(4)ロツクアウトを蹴り一番方就労

五九年版いろはかるた

い	犬も歩けばポリスに殴らる
ろ	論より抜打ち
は	花より賃上げ
に	にくまれ首相世にのさばる
ほ	骨折り損の自衛隊
へ	平和憲法にケチつける
と	年寄りの保守党
ち	地図をひろげりや基地が邪魔
り	陸海空はもうたくさん
ぬ	盗まれた沖縄
る	ルりは光るが政治は光らず
お	恩給に「ささげ銃」
わ	われる政党あらそう派閥
か	改悪好きの自民党
よ	世論無視して灰ちらし
た	旅はタダ乗りなさけ無用
そ	総裁のワンマン
つ	月夜にロケツト落ち
ね	ねぼけた大臣多すぎる
な	泣きつらのグラウン問答

新春コント秀作集

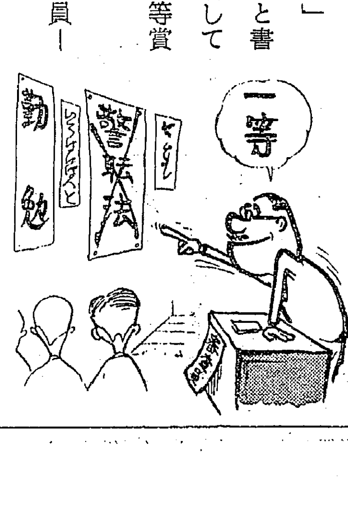


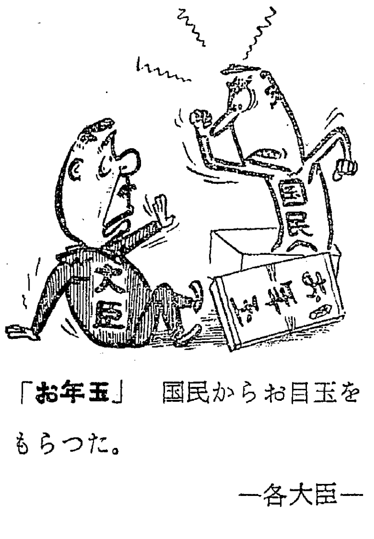
「初夢」　こいつは春から縁起がいいゾ、岸首相引退の夢をみた。

—国民—

「書初め展」　「警職法」と書いて×で消してあるのが一等賞です。

—審査員—



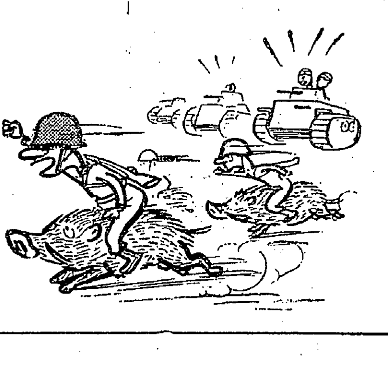


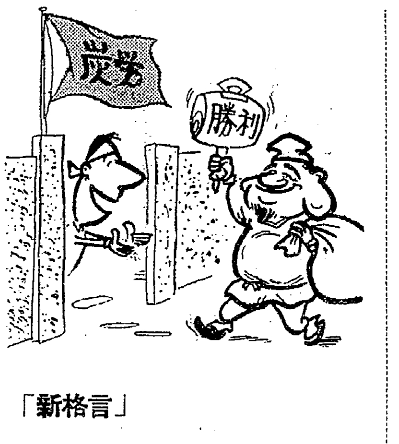
「お年玉」　国民からお目玉をもらつた。

—各大臣—

「いのししの年」　猪突猛進するゾ。

—自衛隊—





「新格言」

闘う門に福きたる。

—労組—